

科目名 (科目番号)	基礎看護技術Ⅰ (A:074121/B:074124)	教員名	尾崎道江 山崎智代 田所夕子 他	学科等	看護	必修	履修年次	1
				曜日・時限等		時間割表参照	単位数	1
				オフィスアワー			各教員研究室	
授業概要	看護は、人間に対する深い理解と科学的な思考、専門的な技術が一体となって看護活動を展開する。ここでは、さまざまな健康状態・発達段階にある人々を対象に行われる看護活動の基盤となる援助方法について、基礎的な技術と態度を修得することを目的とする。すなわち、看護技術の考え方、すべての看護活動に共通するコミュニケーション技術、安全管理・安楽確保の技術、感染予防の技術を学び実践できる力を養う。 関係する垂直軸:看護、コミュニケーション、人間の理解							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	看護技術とは	到達目標:看護技術とは何かを学び看護技術の特殊性と能動的な学修態度の必要性が理解できる。 学習内容:看護技術の考え方、意義と目的について学習する。					
	2	〔演習〕 感染予防の技術	到達目標:看護場面に共通する安全を守るための基本的な技術を実施できる。 学習内容:衛生的手洗い、個人防護具(エプロン・未滅菌手袋・マスク)の着脱について学習する。					
	3	看護における人間関係と コミュニケーション(1)	到達目標:人間関係を促進するコミュニケーションについて理解できる。 学習内容:コミュニケーションの成立過程と構成要素、さまざまなコミュニケーション状況と阻害因子について学習する。					
	4	看護における人間関係と コミュニケーション(2)	到達目標:看護の場におけるコミュニケーション技術について理解できる。 学習内容:質問技法、関係構築の技法、面接技法について学習する。					
	5	〔演習〕 コミュニケーションの技術 (1)	到達目標:自己のコミュニケーション傾向に気づき、コミュニケーション能力を高めることができる。 学習内容:学生間のロールプレイ、プロセスレコード分析など、体験と振り返りを通してコミュニケーションについて学習する。					
	6	〔演習〕 コミュニケーションの技術 (2)						
	7	〔演習〕 コミュニケーションの技術 (3)						
	8	観察の技術: バイタルサイン(1)	到達目標:バイタルサインの概念を理解し、患者の身体面の状態を把握するために必要なバイタルサインの観察方法が理解できる。 学習内容: (1)体温・脈拍・呼吸・血圧の変動要因と得られた情報のアセスメントについて学習する。 (2)意識レベルを観察する必要性と判定の代表的な方法について学習する。					
	9	観察の技術: バイタルサイン(2)						
	10	〔演習〕 バイタルサイン測定	到達目標:バイタルサインを測定し、評価及び記録・報告ができる。 学習内容:体温・脈拍・呼吸・血圧の観察と測定方法について学習する。					
	11							
	12	感染予防の技術(1)	到達目標:感染予防の概念と基本的な知識が理解できる。 学習内容: (1)感染の定義と成立過程、感染経路と感染経路別予防策、スタンダードプリコーションについて学習する。 (2)消毒法・滅菌法・無菌操作および感染性廃棄物の取り扱いについて学習する。					
	13	感染予防の技術(2)						
	14	〔演習〕 無菌操作	到達目標:感染予防に必要な基本技術を実施できる。 学習内容:滅菌物の取り扱い・ガウンテクニック・滅菌手袋の着脱及び医療廃棄物の取り扱いについて学習する。					
15	看護における安全・安楽	到達目標:看護における安全・安楽の意義とその実際について理解できる。 学習内容:看護・医療場面で起こる事故とその原因、セーフティマネジメントについて学習する。また、安楽の概念、安楽を促進するための援助方法について学習する。						
成績評価の方法・基準	課題(30%) 期末試験(70%)							
教科書	新体系看護学全書11基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ 新体系看護学全書12基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ 演習・実習に役立つ基礎看護技術			深井喜代子編 深井喜代子編 三上れつ・小松万喜子編		メヂカルフレンド社 メヂカルフレンド社 ヌーヴェルヒロカワ		
参考図書	新訂版、看護技術講義・演習ノート上下巻 看護技術が見えるVol.1基礎看護技術 第1版			山口瑞穂子編 医療情報科学研究所		サイオ出版, 2018 メデックメディア, 2017		
教員からのメッセージ	演習は小グループで実施しますので技術の根拠を考えながら主体的に学んで下さい。また、技術の習得にはセルフラーニングが必要です。セルフラーニングを行うことで看護技術を身につけていきましょう。課題はコメントを付して授業内で返却します。							